

創刊にあたって

本研究科は、産学公の連携による「ビジネスづくり」教育を志向し、経営の「理論」と「実践」の融合化を図り、高度経営専門職業人を育成することを目的に、平成 22 年度に開設された経営専門職大学院(入学定員 40 名)であり、ビジネスイノベーションコース、地域イノベーションコース、医療マネジメントコースの 3 つのコースを擁し、加えて中小企業診断士登録養成課程を併設しています。そして、多様な連携先との協力関係のもとに、実践教育の実現の場としてフィールドスタディを行うことで、ビジネス・プロフェッショナルに求められる問題発見・解決能力の向上を図る、いわゆる「現場実践型のケーススタディ教育」を特色としています。

本論文集『商大ビジネスレビュー』は、本研究科の発行になる学術雑誌であり、大学院生が在籍中に修得した理論や分析ツールさらにはフィールドスタディで培われた現場感覚を基に、興味を抱いている種々の経営問題に対する考察結果をまとめたものです。本来、専門職大学院は、研究者養成機関ではなく、従来のように修士論文の作成を卒業要件とはしておりません。しかし、研究者養成であれ、高度専門職業人養成であれ、各人が抱える問題の解決に向けて論理的思考が求められることに変わりはなく、その論理的思考のプロセスを文章化(論文)する能力も必須の能力であると考えております。そこで、修了予定年度の最後に設けられている専門演習において、大学院生各自が取り上げた問題テーマに対して、分析を施し考察を加えて論文としてまとめられたものが、この『商大ビジネスレビュー』です。

なお、「商大」という名が冠せられている理由は、そもそも兵庫県立大学は、平成 16 年度に、神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の三大学の統合によりできた大学であり、本研究科も、神戸商科大学の歴史と伝統を受け継ぎつつ、経営専門職大学院として新たな発展の第一歩を踏み出すことを期して、命名されたものであります。

また、本論文集の表紙は、在学生からのコンペにより選ばれた宮地千尋氏(水彩画)と長尾康行氏(デザイン)の合作品です。ここで描かれている景色は、神戸商科大学が現在の場所に移転する前の神戸市垂水区高台から明石海峡大橋を望む視角で画かれたものです。この絵のように、本論文集が架け橋となって、本研究科の教

育研究内容が多くの方々に熟知され、卒業生・在校生も含めて本研究科を中心に産学公の連携の輪が一層広がっていくことを心より願うばかりです。

最後に、本論文集に投稿された院生諸君、指導にあられた教員、編集に携わられた方々の一層のご発展を心より祈念申し上げます。

2011年9月

兵庫県立大学大学院経営研究科長

鳥 邊 晋 司